

品質は語る……

白松がモナカ 白松がヨーカン



わかあゆ

若鮎



小豆入り求肥

求肥

数量限定

甘く柔らかな餅菓子をカステラ生地で
職人達が手作業で包んでいます。

1尾160円

※直営店にてご用命をお待ち申し上げております。表示価格は消費税込みです。



「蒸気機関車C60-1」は、当初C59型式として昭和17年に製造され、山陽本線に配属。昭和28年、C60型式に改造されて東北本線や常磐線で15年間活躍した、鉄道史上最大級の貴重なSL。長倉さんと国鉄OBの協力を得て行った補修工事が3月終了。往年の雄姿がよみがえり、運転席に立ち入ることも可能に。

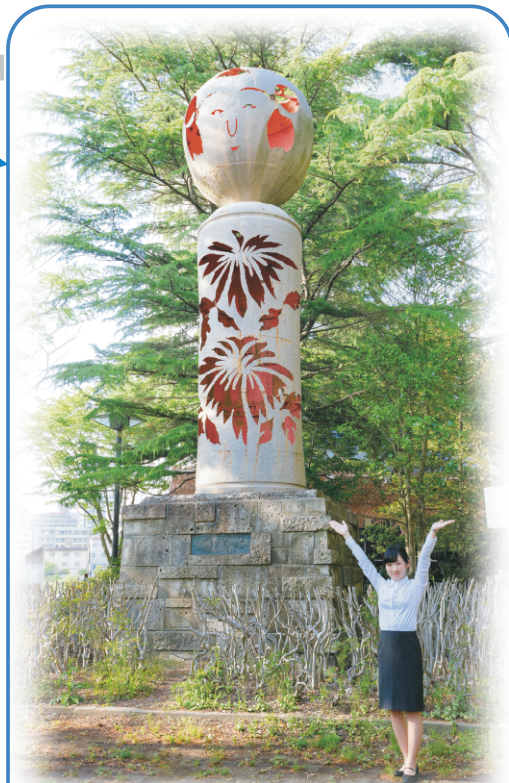


こけし塔ができたのは昭和36年3月のこと。収集家だった「天江のおんちゃん」こと天江富弥さん所有の鳴子こけしを元に、山形市の鈴木精造所で製作された鉄製です。全長7.4メートル、頭だけで重さ3トン！関山峠を越えて仙台へ運んで設置するのに自衛隊が出動する大仕事でした。塔の目的は東北の観光宣伝で、中心となったのは仙台商工会議所。当時のエネルギーが伝わってきます。

SLの設置は昭和44年の子供の日。鉄道電化による蒸気機関車の廃止を知った、ひとりの小学生の願いがきっかけでした。「保存してください」と書かれた手紙を見た国鉄は、仙台市長と相談し、市民憩いの西公園に展示保存することを決めたのです。何て粋な計らいでしょう。機種を選定したのは、当時、国鉄東北支社の車両課長だった長倉徳之進（東日本鉄道OB会仙台支部）さん。長年東北本線で活躍し、東北初の特急列車「はつかり」の機関車として名を残す「C60-1」に決めました。

今年12月、西公園内に地下鉄東西線「大町西公園駅」が誕生し数年後にはSL広場も完成の予定。装い新たな西公園が楽しみです。

SLと巨大こけし 西公園の不思議



全長7.5メートル、重さ8トン。中は空洞で透かし彫りが施され、内側に塗った朱色が模様となって浮かび上がる。高さ2.4メートルの台座は秋保石。工業技術員産業工芸試験所東北支所長の安倍郁二氏が設計した。



バックナンバーは
白松がモナカHPIにて公開中です
[西公園]

正式名称	仙台市西公園
通称	(桜ヶ岡公園)

伊達家家臣の伊達安房、古内左近之助、大内縫殿の屋敷跡地18,000平方メートルを、明治8年に宮城県が公園にしたのが始まり。桜岡大神宮にちなんで「桜ヶ岡公園」と称したが、明治23年に仙台市の所有になり、35年に仙台市の東に桜ヶ岡公園ができると、西公園と呼ばれるように。

今にも動き出しそうなSL「C60-1号」と、夕日を受けてほえむビッグなこけし……。西公園の一角に、珍しいお宝が並んでいるのはなぜ？そこで西公園の140年の歴史を紐解いてみたらびっくりです。明治19年の高級和洋料理店「挹翠館」に始まり、戦前には立町小学校、公会堂、動物園、野球場まで公園内にありました。戦災で灰燼に帰した戦後は図書館に天文台、そしてこけし塔とSL。市民の憩いの場にふさわしい多彩な施設が、できたり消えたりしていったのです。